



妻
川上祥子

「悔いが残らないように、走りぬいて！」
がんばれ、お父さん

実誠でさく気 頼れる相談相手

日本共産党飯塚市政対策委員長

川上なおきさん

一言でいうと、情熱と正義感の人です。「飯塚市議会に挑戦する」という話を聞いたときは、正直、とまどいました。でも、「彼の生き方をつきつめると、こうなるのかな」と半分納得。決めたからには、悔いのないよう走りぬいてほしい。二人の娘と一緒に応援しています。



↑街頭での宣伝を終え、帰ろうとしていたら、「生活相談」を受けた川上さん(左)。気さくで親しみやすい人柄、ていねいな説明に、「声をかけやすい」と評判です。



↓川上なおきさんのあゆみ

↓川上なおきさんのあゆみ

↓川上なおきさんのあゆみ

↓川上なおきさんのあゆみ

↓川上なおきさんのあゆみ

↓川上なおきさんのあゆみ

そして今 飯塚市議会・市政の改革へ

→党福岡市議団事務局長時代の川上さん



前衆議院議員
小沢和秋



私が所長をつとめていた党衆院九州沖縄事務所、住民の生活相談から政府交渉にいたるまで、昼夜を分かたずがんばってくれました。川上さんの実行力は、飯塚市民の役に立てると確信し、期待しています。

調査・提案から実現まで 抜群の実行力
飯塚市民の役に立てる政治家

大学卒業後、党の職員になった川上さん。「福岡民報」記者、国会秘書、福岡市議団事務局局長などを務めてきました。その経験が飯塚市政に生かされる時です。

大学卒業後、党職員
をへて国会秘書に

「福岡民報」記者時代の川上さん↓



九大での学生時代、日本共産党に
自分の成長を社会進歩に

九大工学部に入学した川上さんは、九州建築系学生連絡会議でサークル活動にとりくみ、学費値上げ反対など、くらしと権利を守る先頭にも。「自分の成長を社会進歩に」との思いから、日本共産党に入りました。

嘉徳高サッカー部で
チームワークの大切さ学ぶ

→前列左から2人目が川上さん



粘りの人

九州大会優勝へ
『逆転ゴール』



元キャプテン
野中康弘

不利な形勢のなかで、一発逆転のゴールを決めた殊勲者。逆境の中で、底力を発揮できる男です。

九州大会一回戦、熊本の宇土高に一点リードされた後半。腹痛の選手に代わって出場した川上選手。同点に追いついたあと、センターラインからキックしたボールは、キーパーの頭を抜け、ゴールへ。この逆転勝利から、快進撃が始まりました。



「まっ直ぐに、ひとに喜ばれる生き方を」
小学校教師の父、やさしい母に育てられ

炭鉱閉山の「嵐」の中、厳しい社会の現実を肌で感じながら少年期を過ごしました。教師の父からは強い正義感を、母からは「思いやり」の大切さを学びました。まっ直ぐに、ひとに喜ばれる生き方・・・「直喜」の名前には、そんな両親の願いが込められています。